

市民活動サポートセンター いなぎ

ニュースレター

No.2

2005.6.15

発行/市民活動サポートセンターいなぎ
運営協議会

事務局/〒206-0802

稲城市東長沼2-1-12-1

市民活動サポートセンター内

電話042-378-2112

E-mail:info@i-inagi-support.org

http://www.i-inagi-support.org/



毎週金曜の夜は 交流サロンの日

市民活動サポートセンターいなぎでは、毎週金曜日の夜6時半から9時まで、「金曜サロン」を開いております。このサロンは「市民活動に関心のある方々の出会いの場」として用意しました。

飲み物などで懇親を図りながら、どんな事でも語り合いましょ。そして、「市民活動の仲間作り」が出来ればいいですね。

ぜひ、お気軽にお出かけ下さい。

今後の行事予定

運営協議会では、これからも次のように様々な行事を予定しています。ぜひ多くの皆さんの参加をお待ちしています。

- ①「稲城手づくり市民まつり」への出展（5月3、4日に実施済み）
- ②『Iのまちいなぎ市民祭』への出展参加を企画（10月22日・23日）
- ③『（仮）市民活動会議』を検討
 - ・市内の市民活動グループが、市民活動について年に一度共同で話し合う場をつくれるか検討しています。
- ④NPO法人講座（4～5回）
 - ・NPO法人をこれから作ることを検討している方を対象としたNPO法人の作り方〔入門編：（例）NPO法人のメリットデメリット、組織、経理、書類、手続きなど〕
 - ・NPO法人をすでに運営している方を対象にした運営上のノウハウ〔（例）経理、税、手続きなど〕

住んでよかったと実感できる 稲城を創るために

市民活動サポートセンターいなぎ運営協議会
代表 角田 亨

稲城の地域社会を築き支えているまちづくり、福祉、消防、防災、防犯、生涯学習、子育て、環境、国際協力、芸術文化などの分野で活躍している団体が一堂に会してオープニングイベントを開催できたことに感謝しております。

これを契機に一層市民活動（社会貢献活動）の充実が期待されます。その一助としてこのセンターは市民活動団体を対象に相互の交流、運営や活動の支援を行い、市民活動の自立と活性化を目的にしております。

運営の基本原則は

- ①中間支援の役割を担う
- ②行政から独立した運営を原則として、それを目指す。
- ③非営利を原則とする

としております。

この稲城の地に住んでよかったと実感のもてる、そして誇れる稲城を創る社会貢献活動を皆さんとともに実践しましょう。

5月15日に開催

センターに対する 期待の大きさが感じられた オープニングイベントでした

地域振興プラザ1Fにオープンした「市民活動サポートセンターいなぎ」のオープニングイベントが、5月15日(日)に4F会議室で開催されました。

最初に当センターを運営する運営協議会の角田代表のあいさつ。次に、来賓として出席し



いただいた石川稲城市長から



当センターに対する期待を込めた祝辞をいただきました。



第I部では「活力とおもいやりのあるまち



それぞれに熱のこもった活動紹介でした▼



をみんなの手で」と題した記念講演で、相模原市での先進的な取り組みについての活動実績を話していただきました。

講師は、相模原市で市民活動

サポートセンターを運営している伊藤信吾さん(さがみはら市民会議代表理事)です。

内容は当サポートセ

ンターのオープニングを飾るにふさわしいもので、特に、市民活動の必要性、サポートセンターを運営していく上での苦労話や目指す方向性についてなど、今後私達が活動していく上で参考になる話ばかりでした。

第II部では「支えあう仲間たち」と題して、既に市内で活動している5団体に活動の紹介をして

いただきました。

①いなぎ里山グリーンワーク/里山再生事業を通じてネッ

トワークを作り、まちおこしをすすめていきます。

②いなぎFFネットワークス/向陽台で中高生の居場所づくりを進めています。

③NPO法人クラフトボランティアJOY/趣工芸のボランティアグループでクラフト療法を確立したいと考えています。

④NPO法人支えあう会みの



▲基調講演の伊藤講師

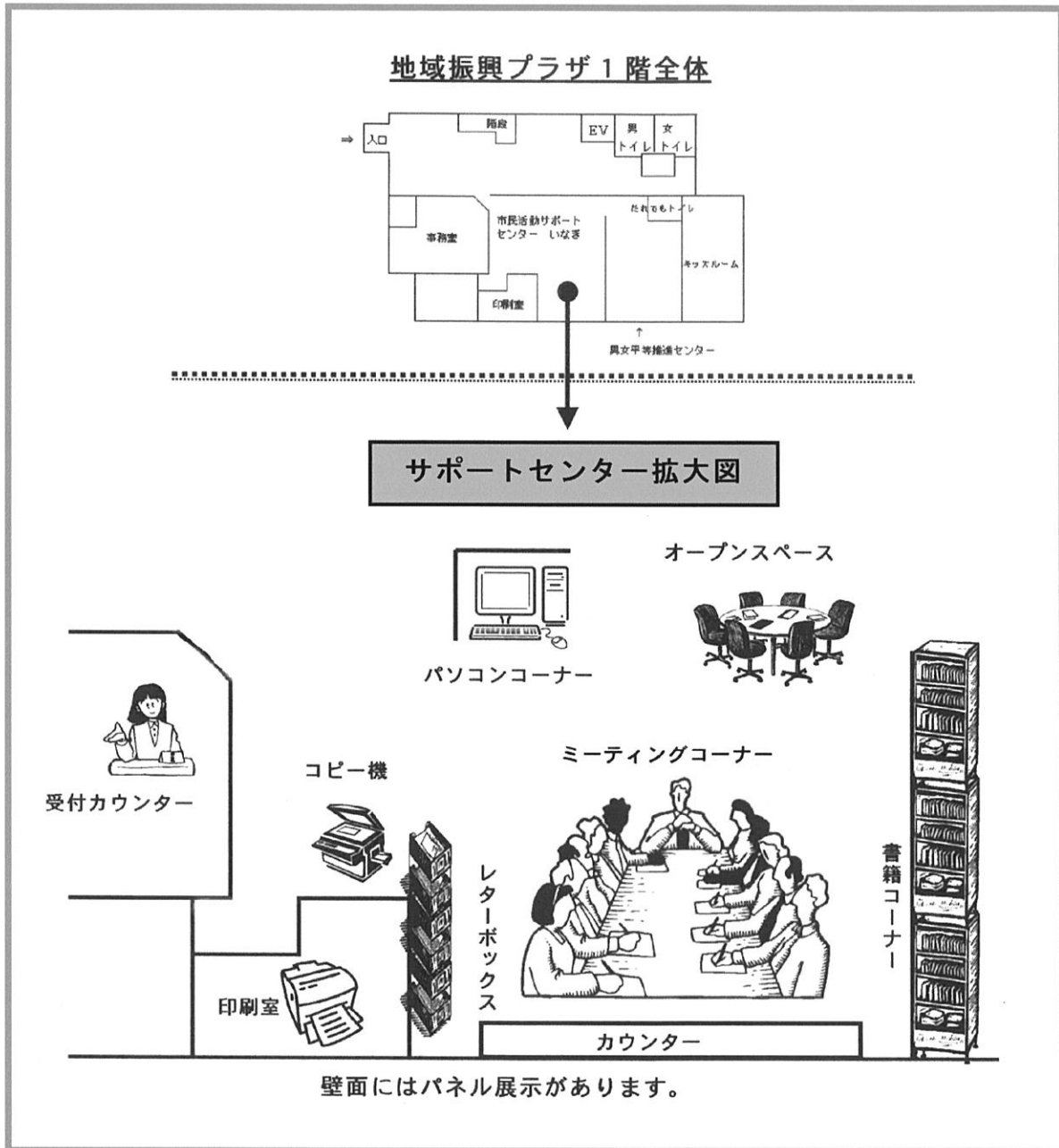
り/在宅福祉サービスの一環として食事中心の支援活動を行っています。

⑤NPO法人ふれあい広場ポニーの木/障害をもっても、年をとっても生き生きと暮らすためのお手伝いをしています。

◆ ◆
終了後、引き続き交流会が行われました。

稲城市内(次ページに続く)

**■サポートセンターの中はこんなになっています。
ぜひ一度のぞいてみてください。**



■ご自由にご利用下さい。

- ・コピー機 (1枚10円)
- ・書籍閲覧
- ・パソコン (インターネット検索)

■利用登録が必要です。

- ・印刷室設備 (印刷機1枚0.1円、原紙35円/紙折り機)
- ・ミーティングコーナー (予約制/10数名まで可)
- ・レターボックス (先着順)

の各種活動団体が一堂に会して親睦を深めることが出来ました。

このように市内の市民活動団体が集まるのはこれまではなかったことで、市民や行政からの当サポートセンターへの期待の大きさを感じるとともに、これからの活動への責任の重さを改めて感じました。

▼盛り上がった交流会でした



オープニングイベントへの参加ありがとうございました。

その時のアンケート結果はホームページに載せていますのでご覧下さい。また、講演会の内容については、別紙をご参照下さい。

運営協議会

ほうこく

役員会

6月13日(月) 18時30分から9時まで役員会を開催し次のような議題について検討しました。

- (1) サポートセンターの運営について
 - 業務マニュアル
 - 担当運営委員の配置
- (2) 運営協議会の運営について
 - 経理処理について
 - その他
- (3) 年間事業計画について
 - 「金曜サロン」の充実
 - NPO講習会開催
 - ニュースレターの発行
 - (仮)市民活動会議開催検討
 - 1日研修について

企画部会

100名以上の方のご来場をい

ただき、『市民活動サポートセンターいなぎ』のオープニングイベントが終わりました。いよいよ本格的に活動開始です。

交流サロン(5月から毎金曜夜)をはじめ、サポート企画を練り上げ中です。

広報部会

企画部会では、ニュースレター第2号(本号)の発行を進めてきましたが、今回はそれに合わせ、オープニングイベントの講演内容を要約したものを折り込むことにしました。

それに加え、目下サポートセンターをPRするためのチラシを作成中です。

また、市内の市民活動団体をホームページで紹介しようと準備中ですが、もし団体調査表がお手元に届いていない団体がありましたら、ぜひサポートセンターまでお申し出下さい。

編集後記

知人が中途失聴者になりました。本人の話では手術の後遺症とのことです。最初は補聴器をつけて会議に出席していましたが徐々に話題から外れ、孤立しがちになりました。その後退会しました。

私は以前、要約筆記通訳をしていました。ノートテイクならコミュニケーションがとれ、意見交換が出来ます。今は活動をしていないので、筆記通訳でサポート出来ることに気が付きませんでした。筆記通訳に限らずこのような経験をされた方がいらつしやるのではないだろうか。サポートセンターはボランティア経験を生かし、活動したい人たちの場でもあります。

昔とった杵柄の方も、これから始めたい方も是非お出でください。お待ちしております。

※要約筆記通訳…中途失聴・難聴者で手話が得意でない人に話を要約しOHPで映す。手話と併用することが多い。

※ノートテイク…1対1でノートに筆記通訳する。

(稲垣)